

■令和4年度 市長をかこむ会

川之石地区 R4.9.15 (木)

19:00~20:02

場所: 川之石地区交流拠点施設みなせ

出席者	住民	36人	市 大城市長・萩森商工観光課長 政策推進課 菊地補佐・兵頭係長
担当課	事項	要望内容等	かこむ会での回答
政策推進課	県立高校の再編について	県教育委員会が7月に公表した県立高校再編計画案によると、川之石高校は令和8年度に八幡浜高校に統合される。町の活性化に寄与した高校が消えていくことは残念である。今後、川之石高校存続に向けて、統合反対の動きがあるかもしれない。川之石高校再編について、市長の所見はどうか。	人口の問題が根幹にはあり、時代の流れだと思っている。先日、県の説明会が開催されたが、大きな反対はなかったと聞いている。現在、生徒数は減っており、高校生として学習・スポーツ・ボランティア環境を考えた際に、今回の案は納得できるものである。今回、農業や工業の授業をする際はキャンパス制ということで、元の高校で授業をするようになっている。部活のことを考えても、一つの高校にある程度の生徒数は必要だと思う。市内の3校それぞれの生徒が減少し何も活動ができなくなるよりは、しっかりとした高校を1つ作っていく方が大事だと思っている。
総務課	トランシーバーの配備について	地区公民館と消防団にはトランシーバーが配備されているが、地区内の区長8名には配備されていない。災害の際には携帯電話は利用できなくなると思うので、トランシーバーの配備について検討をお願いします。	災害の際にはデジタルだけでなくアナログも必要である。トランシーバーはアナログなので、災害時には効力を発揮する。川之石地区だけでなく、市全体を通して、今後の防災でのトランシーバーのあり方を研究したい。そのうえで、どの地区に配備するのか検討したい。 【補足】 無線機(トランシーバー)には、アナログ方式・デジタル方式・IP(Internet Protocol)方式等があるが、どういった無線機を使用するかは、用途によって一長一短がある。 また、自主防災会組織にはアナログ無線、IP無線、消防団にはアナログ無線、デジタル無線、IP無線を配備している。 これらのうち、市では広範囲で使用できるIP無線を主に使用しているが、端末代金が約10万円/台、年間利用料が約24,000円/台という費用が必要となるため、今後、必要性を含めて無線機のあり方を検討していきたい。
建設課	道路の水たまりについて	雨上がりの朝に散歩をしていると、路面に水たまりが残っている箇所がある。ひどい箇所は内之浦公会堂前、旧白石和太郎洋館前、三島神社向かって左側の歩道である。現場を確認して対応をよろしく願います。	現場を確認して対応するようにしたい。 【補足】 現地を確認して対応したい。 9/19(月)3路線については、現地を確認済み。
水道課・建設課	水道メーターについて	雨の時に山からの水が家の水道メーターに流れ土砂が入る。検針の際はコップで水や土砂を除かないと検針ができない状態である。市?に相談したが問題ないと言われた。問題あると思うので対応をお願いします。	近くに青線があれば、そこに水を誘導するようにしたい。 【補足】 横断側溝を設置し、路面排水を隣接する暗渠へ排水したい。 9/19(月)現地を確認済み。

担当課	事項	要望内容等	かこむ会での回答
建設課・下水道課	川之石と神越のポンプ場について	<p>7月の集中豪雨の際、地区で30cm程冠水した所があった。その際、和田町公民館の周りにあるポンプは自動で動いていたが、楠町側の造船所と川之石石油裏のポンプは1時間後くらいに職員が来て動かした。手動のポンプがもっと早く動いていれば被害が少なくなっていたと思う。建設課の職員は、令和5年度に自動化の予算を計上すると言っていたが、川之石のポンプは約50年経過しているうえ、真空式で機能が弱いので、自動化するならば機能を向上させてほしい。また、神越ポンプ場の排水はどのようにするのか教えてほしい。</p>	<p>既存と新設のポンプ場を合わせて全体で水の流れをよくしていかなければならない。詳細は把握していないので、後ほど説明する。</p> <p>【補足】 10楠町B水門ポンプ(浄化センター横)、11楠町新田排水路ポンプ(楠町側の造船所)、12和田町新田排水路ポンプ(川之石石油裏)の3箇所について、令和5年度に自動化の予算を計上したいと考えている。11、12のポンプについては、真空式でありかなり古くなっているため、新設する場合の見積りも作成しているところである。 (ポンプの起動方法については別紙参照。) 神越ポンプ場については、現在、建設発注のための実施設計を行っており、排水運転は、水位計測による全自動運転としている。</p>

